

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午前】
部会名	小学校 音楽部会

1 提案テーマ 『一人ひとり、思いや意図を持ち、楽しく表現活動しよう』

2 単元(題材) ①曲想を味わおう『誰かが口笛ふいた』 ②思いや意図をもって表現しよう『われは海の子』

3 学年 ①第5学年 ②第6学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

②思いや意図をもって表現(歌唱、器楽、音楽づくり)する力や音楽全体を味わって鑑賞する力を育成する学習指導の工夫

・感じ取ったことを言葉で表すなどの言語活動の充実

5 学習指導要領との関連

第2章 第6節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 [第5学年及び第6学年] 2内容

A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。

イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

6 実践に向けての課題意識

5年生は、音楽が好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組むことができている。歌唱表現では、みんなで声を合わせて歌う楽しみを味わい、楽譜から強弱記号を読み取って歌唱できるようになってきた。一方、一斉指導の中では、決まった児童が発言したり、手本として演奏したりする傾向があり、全体の場で表現することに苦手意識をもち、主体的に活動することが難しい児童もいる。

そこで、一人ひとりが主体的に表現の工夫について考え、思いや意図をもって音楽表現をすることの楽しさを経験させたいと考えた。6年生に進級してからも、このねらいを継続して実践している。

7 実践の概要

① 曲想を味わおう『誰かが口笛ふいた』(第5学年)

児童一人ひとりが3種類の旋律それぞれの特徴を感じ取って表現できるよう、まず鑑賞させ、ワークシートを使って『音の動き・リズム』『強弱』『明暗』『曲の様子』のポイントを捉えてから歌唱させた。次に、個人のワークシートを基に、表現の仕方を工夫することについてグループで話し合いをさせた。工夫する際には、理由(『思いや意図』)をもたせることに着目して指導した。話し合いだけでなく、途中で歌唱練習をするなど児童が主体的に活動できるようにした。

② 思いや意図をもって表現しよう『われは海の子』(第6学年)

歌詞の内容や特徴的リズム、旋律の動きを全体で確認し、歌唱練習を行った。その後、強弱記号のない楽譜を用意し、グループごとに強弱を工夫させ、その強弱記号は何を表しているか考えさせた。また、各グループの工夫した点が聴き手に明確に伝わることを目標に歌唱練習させた。

8 成果と課題

<成果> 各グループで楽曲の変化や特徴を感じ取り、一人ひとりが意欲的に生き生きと歌唱表現ができていた。また「○○のように歌いたい」と思いをもって歌うことができた。話し合い活動では、音楽記号を使って思いを伝える児童や、自分の言葉で思いを表現する児童が増え、言語活動を通して、児童一人ひとりが主体的に思いや意図をもち活動する姿が見られた。また、児童が自分たちで音楽を作り上げることの楽しさを味わっていた。

<課題> 表現活動を深めるためには、発問や言葉がけが重要であり難しく感じた。「われは海の子」は歌詞が難しく、内容を理解するために時間がかかった。また、思いや意図をもって工夫したことが、聴き手に伝わるように演奏することが難しい教材であった。児童が表現の深まりや、音楽活動の楽しさを実感できるような教材の選択、指導方法の工夫が必要であると感じた。

9 予想される協議の柱

・思考力、判断力、表現力等を育む学習プロセスづくりの工夫について